



専門家の指導を受けながら
小売業を基礎から学び
店舗改革に取り組む

『おばあちゃんの原宿』で 2代目が奮闘

JR山手線や都営地下鉄三田線の巣鴨駅近くに位置し、「おばあちゃんの原宿」として親しまれている巣鴨地蔵通りにあるミセスファッションの店舗が「サン・まつみや」だ。通りを挟んで本店と東店がある。

オープンは1981年。現在、店長として活躍しているのが尾崎朋子さんだ。「開店した年に私が生まれましたので、まさにこの店と共に育ってきました。両親が店を切り盛りするなか、小学生の頃から商品の値札づけや接客なども手伝っていた記憶があります。」と話す。

しかし、当初から店を継ぐ意思があつたわけではない。大学は美大に通い卒業後も大手家電量販店に勤めながら、創作活動に打ち込んだ。その後結婚し2012年から今の仕事に就くことになったという。

「子どもの頃から店のことはよく知っているつもりでいましたし、大手家電量販店で働いていたこともあり、接客なども訓練されていましたから、自分も問題なく対応できると思っていました。でも、それが甘いことにすぐに気がつきました。」と尾崎さん。



示する際にも自身が伝えたいことがきちんと伝えられないジレンマがあった。また何をどれだけ仕入れれば利益が上がるかなども見当がつかなかつた。

商店主向けのセミナーで 実践ノウハウを学ぶ

わからないことが山積する中、いろいろな人に小売業について勉強したいと相談をもちかけていたという尾崎さん。そういった中で近隣の店舗から勧められたのが振興公社の事業だった。そして2016年からは「商人大学校」を受講。購入に結びつく実践的な接客の仕方や効果的なディスプレイの方法などを学び、即、自分の店で実践した。その中でスタッフにも店舗をより良くしていきたいという思いが少しずつ伝わっていった。また一つのテーマについて受講生同士のディスカッションも活発に行われ、発想や視点の違いに気づき、それも今後の販売戦略を考える上で役立った。その間、専門家から直接アドバイスを受けられる商店街

パワーアップ作戦も活用し、商品の陳列方法やシフト管理などについても指導を受けてきた。その結果、入り口部分には開放感を、店頭商品にも日々変化を持たせることで、お客様が入りやすく、興味を喚起させるよう工夫した。

また振興公社のデータ活用促進支援事業のサポートを受けてPOSレジも導入。今まで時間が掛かっていた売れ筋商品の分析がスマートにでき、それがそのまま仕入れに役立つようになった。

商人大学校が修了した後に財務や経理関連の知識を知つておく必要があるという思いから、2018年には「事業承継塾」にも参加。経営者として必要なスキルを1つずつ身につけていった。

専門家とともに 課題解決に挑む

経営者の視点を持つようになつたこ

とで、自分がどういう店を作りたいかを改めて考えた尾崎さん。専門家の助言により『クレド』を作成することにした。経営理念や企業が大切にしている信条やポリシー、そして自身のありたい姿や数年後の目標売上などを簡潔に記しました

クレドは、今では尾崎さんが迷ったときの『道しるべ』になっている。

現在では2ヶ月から3ヶ月に1回程度で専門家の先生にアドバイスを受けています。過去2年分と毎月の売上を比較できるグラフを作成し、月々の増減理由を検証することで売り上げが上がる要因と下がる要因を分析しています。

また、POSレジ導入で売れ筋のメーカーや商品、利益率が一目でわかるようになつたので、「そういう数値をどのように経営に活かすかについても専門家に相談しています」と話す。スタッフのシフトや商品の管理も助言を受け、改善を進めている。それとは別に今、抱えている問題などもその都度で相談でき、心強い存在となつてている。

振興公社の様々な事業を利用することで、尾崎さんは自分のビジネス感覚が以前と比べて磨かれていたことを実感している。様々な学びと交流の中には新鮮な刺激があり、それが感度を高めていたという。

そういった尾崎さんの変化に店舗のスタッフも影響を受け、改善に対する意

欲を高めてくれるようになった。

現在、東店は「巣鴨で一番のズボン屋」をキヤッチフレーズに掲げ、幅広い品揃えを訴求。面倒な丈詰めが不要な長さのパンツや腰が曲がったお客様が安心して履けるよう、後ろ股上を長くした『ランパンツ』の他、握力が低下したり、治療やリハビリ中でも履きやすい商品を揃えている。また試着室は椅子や車いすに座つたまま試着ができる、体が不自由な方のためにはスタッフが着脱をサポートするなど本店ともども『おばあちゃんの原宿』という市場ニーズに緻密に対応できる店舗運営を心掛けている。

今後は、スタッフとのチームワークを高め、得意分野を伸ばしながら、お客様一人ひとり寄り添えるサービスを目指していく。



Information

店名／サン・まつみや
業種／婦人服店
所在地／豊島区巣鴨3-20-15
営業／9:30～17:00
電話／03-3949-1695
HP／<https://www.sunmatsumiya.com/>
【活用プログラム】
商店街パワーアップ作戦
商店主スキルアップ事業
商人大学校

